

行政事業レビューシート (国土交通省)

予算事業名	港湾の広域連携化による海上物流への影響把握と効果拡大方策に関する研究		事業開始年度	平成20年度		作成責任者
担当部局庁	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		担当課室	港湾研究部長、港湾計画研究室		室長 赤倉 康寛
会計区分	一般会計		上位政策	技術研究開発を推進する		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	港湾の広域連携化により、中国に代表されるアジア航路を対象とした海上物流への影響把握と港湾物流関係者等を対象とした効果の拡大方策について検討することで、広域連携の進展に寄与することを目指す。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	三港寄港率の増加実態、船舶の輻輳化の実態を効率的に把握するための手法を開発し、海上物流への影響を分析する。また、港湾物流関係者等に対する海上物流情報の需要分析等に基づく情報支援システムの基本構成を検討する。					
実施状況	平成20年度:一般競争入札によるシステム改良業務1件 平成21年度:一般競争入札によるデータ購入2件 一般競争入札によるシステム改良業務1件 一般競争入札によるシステム維持管理業務1件					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	7	5	5	
	執行額	-	7	5		
	執行率	-	100.0%	100.0%		
	総事業費(執行ベース)	-	-	-		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	発注業務について、規定された打ち合わせやメール・電話等による密な連絡調整により、進捗状況を把握・管理している。				
	見直しの余地	本事業に対する国総研研究評価委員会の評価結果を踏まえ、研究課題の目的、研究の成果と活用方針、研究体制等の観点から事業内容についても見直しを行うなど、効率的な予算執行に努めていくこととしている。 なお、調達については、これまでも入札契約委員会を設置し、契約状況の点検・見直しを行う等の取組を行っており、引き続き、適切な予算執行の確保を図ることとしている。				
予算監視の・効率化						
補記	【予算科目】 030 技術研究開発推進費 01-13 社会資本整備関連技術の試験研究等に必要経費 081 港湾の広域連携化による海上物流への影響把握と効果拡大方策に関する研究					
		13054-2122-08 試験研究旅費		333千円		333千円
	13054-2123-09 試験研究費		4,297千円		4,297千円	
				(21年度予算額)	(21年度決算見込み額)	
						※少額のため、千円単位

【一般競争入札】

国土交通省
国土技術政策総合研究所
5百万円

調査の進捗管理、データ
の解析等

A.(株)フェアフィールドジャ
パン
3百万円

AISデータの購入 等

【一般競争入札】

B.(株)アイ・エイチ・
アイ・マリン
2百万円

AISデータ分析システムの
改良等

諸謝金
54千円

旅費
333千円

※少額のため、千円単位

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目
 の双方で実情が分かるよう
 に記載)

A. (株)フェアフィールドジャパン			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
消耗品費	AISデータ購入	2			
消耗品費	船舶動静情報データ購入	1			
計		3	計		0
B. (株)アイ・エイチ・アイ・マリン			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	調査職員	1			
その他	直接経費・諸経費・技術経費	1			
計		2	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0